

海洋調査技術学会

第35回研究成果発表会 プログラム

- 期 間 2023年11月7日（火）～11月8日（水）
- 場 所 東京海洋大学越中島キャンパス 85周年記念会館
〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6
- 参加費 会場参加者（事前登録必要なし）無料
ライブストリーミング（視聴のみ）参加者（事前登録制）無料
会員の方は申し込みの際に総会の委任状の提出もお願いします
講演要旨集 1,000円（会員） 1,500円（非会員）内
- 主 催 海洋調査技術学会
- 後 援 海上保安庁海洋情報部（調整中）
- 協 賛 以下調整中
海中海底工学フォーラム ZERO、(NPO 法人) 海洋音響学会、(一社) 海洋調査協会、(一社) 可視化情報学会、(一社) 資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、(公社) 土木学会、日本沿岸域学会、日本海洋学会、(NPO 法人) 日本海洋工学会、(NPO 法人) 日本火山学会、(公社) 日本航海学会、(公社) 日本地震学会、(一社) 日本写真測量学会、(公社) 日本水産学会、日本水産工学会、(公社) 日本船舶海洋工学会、(一社) 日本リモートセンシング学会、(公社) 物理探査学会 (50音順)

第1日 11月7日(火)		
開会挨拶	会長 道田 豊	10:30~10:35
研究成果発表(1)	座長 水野 勝紀(東大新領域)	10:35~11:55
1	AUV音響測位情報の地形相関を用いる補正の試み：上越沖海鷹海脚上表層型メタンハイドレート賦存に関連するバブル湧出域の例 ○浅田 美穂・佐藤 幹夫・棚橋 学(産総研)・久保田 隆二・坂本 順哉・後藤 慎二(川崎地質(株))	
2	相互SSBL測位によるAUV自己位置の確率的推定手法 ○山本 和・山縣 広和(東大生産研)・藤井 昌和(極地研)・吉田 弘(JAMSTEC)・野木 義史(極地研)・巻俊宏(東大生産研)	
3	複数船舶を用いた繰り返し観測による位置情報ゆれの検討(2) ○浅田 美穂・佐藤 幹夫(産総研)	
4	養蠶管理のためのソナーシステム開発に向けた基礎的検討 ○島崎 祐輔、水野 勝紀、多部田 茂(東大新領域)・齋藤 禎一、岡本 一利(MaOI機構)・阪本真吾、杉本裕介((株)ウインディーネットワーク)・服部征二((株)服部中村養蠶場)	
ポスター紹介	司会 事務局	11:55~12:05
機器展示案内	司会 事務局	12:05~12:20
	・JFEアドバンテック(株) ・(株)鶴見精機 ・(株)海洋先端技術研究所	
	昼 食	12:20~13:40
	ポスターコアタイム	13:40~13:55
	通常総会	13:55~14:50
特別講演	座長 道田 豊	15:00~17:00
1	「海に光を、ロボットに冒険を ~AUV研究の最前線」 巻 俊宏 (東京大学生産技術研究所)	
2	「水中ドローンの社会実装について 現状と今後」 伊藤 昌平 ((株)FullIDepth)	
	懇 親 会	17:30~19:30
	会場：マリンカフェ(東京海洋大学越中島食堂) 参加費：5,000円(予定、当日徴収)会	

※ 注意 発表画面の撮影、ライブストリーミングの録画、画像コピー等は禁止します

第2日 11月8日(水)		
研究成果発表(2)	座長 服部 友則(海上保安庁)	10:00~11:00
5 超深海における自動試料採取の実現に向けた技術開発 ○前田 洋作・各務 均・麻生 達也・小林 あゆみ(JAMSTEC)		
6 衛星画像推定水深(SDB)を用いた水路測量の安全確保 ○仙石 新(AAC)・小澤 守(AGS)・渡部 敏昭・佐藤 崇倫・アウン チョウチョウ(AAC)・荒井 頼子・渡部 帆南(RESTEC)		
7 鎌倉稲村ヶ崎の潮汐と地形(補遺) - 江ノ島・稲村ヶ崎の海底地形と相模湾 - ○小田巻 実(元海上保安庁海洋情報部)		
休憩		11:00~11:10
研究成果発表(3)	座長 小田巻 実(元海上保安庁海洋情報部)	11:10~11:50
8 韓国・国立海洋調査院による竹島近海調査の意図 ○野中 健一・松本 良浩(海上保安大学校)		
9 港湾水理分野におけるメキシコへの技術協力活動のあゆみ ○永井 紀彦((株)エコー)		
昼食		11:50~13:20
特別セッション	座長 永井 紀彦((株)エコー)	13:20~16:10
趣旨説明(座長)		
1 航空レーザ測深の現状と展望 ○吉岐 信二・兼子 太一・劉 軒禹・薄葉 有矢(アジア航測(株))		
2 海浜地形の長期モニタリングの意義と展望 ○伴野 雅之(海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所)		
3 沿岸域の海陸シームレス地質図: 海岸線をまたいでみえるもの ○佐藤 智之(産総研)		
4 洋上風力地点での地盤調査における技術的課題~日本版セントラル方式とJOGMECの洋上風力事業~ ○鈴木 浩一・柴崎 洋志・岡田 和也・森永 靖志・小寺 貴士・梶原 勘吉(JOGMEC)		
総合討論		
若手優秀発表賞 審査結果および授与式		16:10~16:20
閉会挨拶	副会長 加藤 幸弘	16:20~16:25

※ 注意 発表画面の撮影、ライブストリーミングの録画、画像コピー等は禁止します

ポスター発表（会場：85周年記念会館多目的スペース）

11月7日（火）10:30～17:00、11月8日（水）10:00～16:00

ポスター説明コアタイム：11月7日（火）13:40～13:55

1 An automatic noise removal method for multibeam seafloor bathymetry based on cartographers' manual editing

○周 錦焜 (Zhou Jinyu)、高下 裕章 (Koge Hiroaki) 巻 俊宏 (Maki Toshihiro)
東京大学 (1, 3)、産総研 (2)

2 船上重力計で取得される海上重力データの公開と品質管理

○永木晴美・森岡美樹・坂本雅子・佐野守 (日本海洋事業株式会社)
川上創・菱木美和 (JAMSTEC)

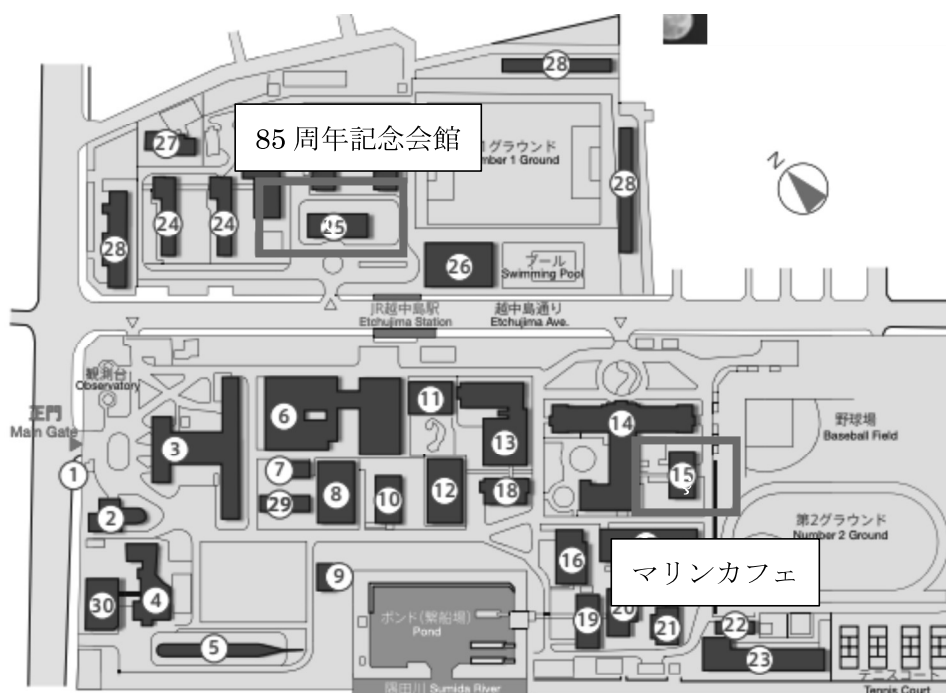
3 高周波超音波と深層学習を組み合わせたアサリの個体数・分布把握法の確立に向けて

○門井 辰夢○門井辰夢, 石田祥一, 寺山慧 (横浜市立大), 小野里祥吾, 水野勝紀,
多部田茂 (東大新領域), 鷺山裕史, 上原陽平 (静岡県 水産・海洋技術研究所 浜名湖分場),
齋藤禎一, 岡本一利 (MaOI 機構), 阪本真吾, 杉本裕介 (ウインディネットワーク社)

海洋調査・測定機器展示（会場：85周年記念会館多目的スペース）

11月7日（火）10:00～17:00、11月8日（火）10:00～16:00

- ・ JFE アドバンテック（株）
- ・ (株) 鶴見精機
- ・ (株) 海洋先端技術研究所



東京海洋大学越中島キャンパス